

## 議事

### (1) 報告事項（資料No.2）

- ① 予約型乗合タクシー「立花 Go!」の本格運行について … 11P - 13P
- ② 令和元年度の取組報告について … 14P - 20P
- ③ 令和2年度の取組計画について … 21P - 27P

### (2) その他事項（資料No.3）

- ① 新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金による交通事業者への支援について … 29P
- ② その他委員より

## 予約型乗合タクシー「立花 Go!」の本格運行について

### 1 実証運行の目標値（本格運行の開始条件）

- (1) 路線系統別の全体平均乗合人数(必要性・適切性) ⇒ 全平均乗車 1.3人以上  
 (2) 全運行本数の運行稼働率(適切性・有効性) ⇒ 全運行稼働率 25%以上

### 2 実証運行の実績

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
運行日(日)	23	21	22	23	20	22	131
全運行回数(回)	138	126	132	138	120	132	786
運行回数(回)	32	26	34	32	43	50	217
運行稼働率(%)	23.2	20.6	25.8	23.2	35.8	37.9	27.6%
利用数(人)	48	33	48	37	61	87	314
行き	30	21	30	23	39	48	191
帰り	18	12	18	14	22	39	123
運行便数(便)	32	26	34	32	43	53	220
行き	20	18	21	20	26	30	135
帰り	12	8	13	12	17	23	85
平均乗車率(人) (利用数/運行便数)	1.50	1.27	1.41	1.16	1.42	1.64	1.43

### 3 目標値に対する結果

- (1) 全平均乗車率 ⇒ 1.43人  
 (2) 全運行稼働率 ⇒ 27.6%
- } 両基準とも本格運行の開始条件を達成

### 4 書面決議の集計結果

5月に実施した書面決議では、当該会議会長である市長を除く委員18人中のうち、18人全員が「承認」として返信あり。

### 5 書面決議の結論

承認多数により、予約型乗合タクシー「立花 Go!」の本格運行の実施及び運行計画が承認されたものとし、次ページのとおり「協議が整っていることの証明」を発行。

### 6 本格運行の開始日時

令和2年7月1日（6月中に交通事業者と市との業務委託契約を締結済）

道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に掲げる  
協議が調っていることの証明書

令和2年4月28日付け伊豆戦略第14号にて、予約型乗合タクシー「立花 Go!」の本格運行（道路運送法第4条による区域運行）における書面決議を実施したところ、会長である市長を除く18人の委員全員から「承認」という返信を得たため、下記事項に関し、協議が調ったことを証明する。

記

- 1 協議が調っている路線又は営業区域  
営業区域 伊豆の国市立花  
路線名称 立花・田京駅線
- 2 協議が調っている運行系統又は運送の区間  
運行系統 立花地区～田京駅前地区
- 3 協議が調っている運賃（料金）の種類、額及び適用方法
  - (1) 乗車運賃  
大人 400 円／乗車、小人 200 円／乗車、障害者 200 円／乗車、幼児・乳児無料
  - (2) 乗合割引制度  
1 便に 2 人以上が乗り合った場合に 100 円引き（大人運賃のみ適用）
- 4 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件
  - (1) 運行日  
月曜日から金曜日運行（土日運休）
  - (2) 運行形態  
一定の区域内（立花地区～田京駅前地区）を予約に応じて運行する。
  - (3) 本格運行の時期  
令和2年7月1日から

令和2年5月18日

伊豆の国市地域公共交通会議

会長 伊豆の国市長 小野 登志子



# 予約型乗り合いタクシー

# あすから本格運行



「立花Go!」を利用する住民＝伊豆の国市内(提供写真)

伊豆の国市の立花地区と田京駅前地区を結ぶ予約型乗り合いタクシー「立花Go!」が7月1日、本格運行をスタートする。実証運

推進委員会の佐々木務会長は「まずはホッとしている。委員会や区民の協力のおかげ」と話した。路線バスなどが運行していない立花地区と最寄りの田京駅を接続する公共交通システムを導入することで、高齢者の外出(社会参加)の機会を拡大や、買い物・通院の困難さを解消するのが目的。地域が自ら立ち上げた推進委員会や市などが協働した取り組みで、立花台、星和地区に次いで2例目の本格運行となる。

月まで計6カ月間(計131日)実証運行を行い、全平均乗車は1・43人、全運行稼働率は27・6%で、条件の全平均乗車1・3人以上、全運行稼働率25%以上をクリアした。佐々木会長は「立花Go!が区民の移動手段として、定着することを目標に利用促進をしていきたい。また、この取り組みが多くの地域に広がり、仲間が増えることを願っている」と思いを語った。

6/20 静岡新聞

## 伊豆の国 立花地区予約型乗合タクシー 来月から本格運行

伊豆の国市は19日、実証運行を行っている立花地区と伊豆箱根鉄道田京駅周辺をつなぐ予約型乗合タクシー「立花GO!」を7月から本格運行すると発表した。市は地元の推進委員会と高齢者の外出機会拡大などを目的に予約型乗合タクシーを企画した。平均乗合人数1・3人、運行稼働率25%以上を本格運行の条件に設定。昨年10月から今年3月まで6カ月間の実証運行の結果、平均乗合人数1・43人、運行稼働率27・6%とそれぞれ条件を上回った。5月1日からは本格運行となる。市政策戦略課の担当者は「地域の足として定着してほしい」と期待した。

市は地元の推進委員会と高齢者の外出機会拡大などを目的に予約型乗合タクシーを企画

# 令和元年度の取組報告について

## 1 伊豆の国市自主運行バスの概要

系統番号	路線(系統)名称	事業所名称
①	千代田団地（保健センター経由）韮山駅線	伊豆箱根バス(株)
②	千代田団地（江間経由）韮山駅線	
③	千代田団地（韮山駅経由）奈古谷温泉口線	
④	奈古谷温泉口（江川邸経由）韮山駅線	
⑤	大仁駅前（浮橋経由）田原野線	(株)新東海バス
⑥	修善寺駅（田京駅・浮橋経由）田原野線	
⑦	修善寺駅（浮橋・長者原経由）亀石峠線	
⑧	修善寺駅（田京駅・浮橋・長者原経由）亀石峠線	
⑨	大仁駅前（浮橋・長者原経由）亀石峠線	
⑩	大仁駅前（田京駅・浮橋・長者原経由）亀石峠線	
⑪	星和立花台・伊豆長岡駅線：予約型乗合タクシー	伊豆箱根交通(株)

## 2 千代田団地～韮山駅～奈古谷温泉口線における路線統合

### (1) 統合の目的

市自主運行バスである千代田団地～韮山駅線と韮山循環線の2つの路線を統合することにより、駿豆線韮山駅に接続するバス交通の効率的な運行と赤字額の抑制を図り、当該地区のバス路線の維持を行うため。

### (2) 路線統合の時期

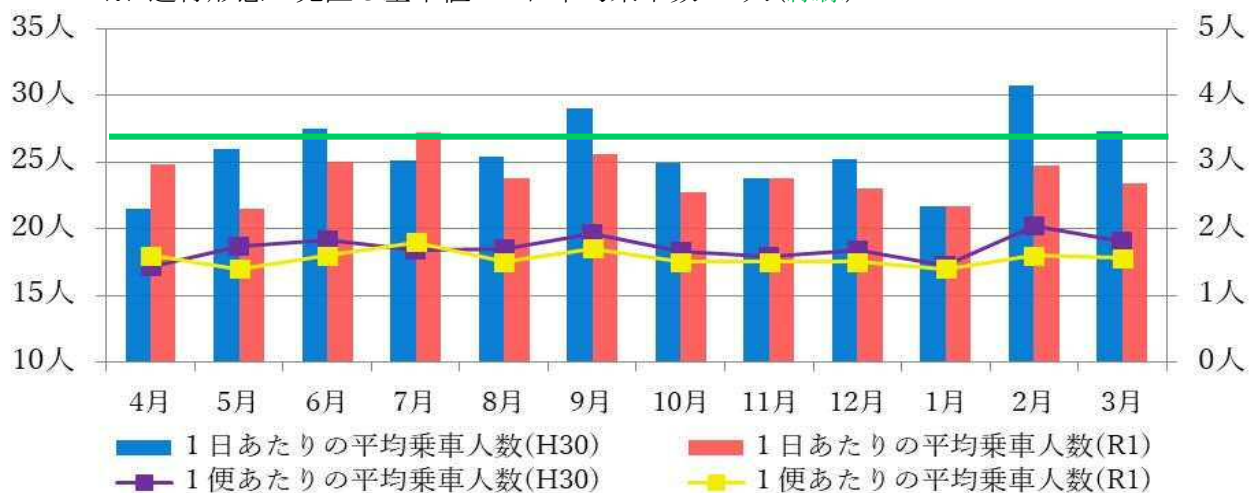
平成30年4月1日～（※平成29年度伊豆の国市地域公共交通会議で承認）

### (3) 運行実績（統合前後の乗車人数等の比較／1の系統番号のうち①～③）

1日平均乗車人数 令和元年度 24.0人 平成30年度 25.7人（-1.7人）

1便平均乗車人数 令和元年度 1.6人 平成30年度 1.7人（-0.1人）

※ 運行形態の見直し基準値：1日平均乗車数 27人（緑線）



### 3 伊豆の国市自主運行バス 年度別輸送人員(年間乗客数:推計)

	系統名称	H27	H28	H29	H30	R1	前年比
伊豆箱根バス(株)	①千代田団地(保健センター経由) 韮山駅	6,887	6,174	9,996	4,102	3,480	-622
	②千代田団地(江間経由) 韮山駅	1,180	1,470	1,470	1,758	1,740	-18
	③千代田団地(韮山駅経由) 奈古谷温泉口	/	/	/	15,529	13,050	-2,479
	④奈古谷温泉口(江川邸経由) 韮山駅	/	/	/	10,841	10,150	-691
	各年度小計	8,067	7,644	11,466	32,230	28,420	-3,810
(株)新東海バス	⑤大仁駅～田原野線	1,192	1,782	1,624	1,523	2,000	477
	⑥修善寺～田原野線(田京駅)	0	0	203	508	500	-8
	修善寺～田原野線	447	0	0	0	0	0
	⑦修善寺～亀石峠線	24,888	15,695	4,307	2,822	6,468	3,646
	⑧修善寺～亀石峠線(田京駅)	0	0	6,534	7,128	5,586	-1,542
	⑨大仁駅前～亀石峠線	20,486	19,896	8,613	10,098	7,350	-2,748
	⑩大仁駅前～亀石峠線(田京駅)	0	0	6,110	7,685	5,647	-2,038
	各年度小計	47,013	37,373	27,391	29,764	27,551	-2,213
(株)東海バスオレンジシャトル	韮山循環(奈古谷温泉～原木南・韮山小)	25,092	19,488	23,967	0	0	0
	韮山循環(奈古谷温泉～韮山小・53次)	0	0	0	0	0	0
	各年度小計	25,092	19,488	23,967	0	0	0
合計	合計(輸送人員)	80,172	64,505	62,824	61,994	55,971	-6,023
	前年比(増減)	11.3%	-19.5%	-2.6%	-1.3%	-9.7%	—

※乗降者調査による(数値は自主運行の申出路線の現況/県様式第4号から転記)

# 予約型乗合タクシー（星の花号）について

## 1 運行概要

- (1) 運行名称 伊豆長岡駅・星和立花台線
- (2) 運行経路 伊豆長岡駅・ウエルシア伊豆長岡駅前店～星和地区・立花台地区
- (3) 運行便数 6便（3往復）／日
- (4) 運行日数 314日（月曜～土曜運行。日曜運休）
- (5) 運行事業者 伊豆箱根交通株式会社

## 2 利用実績

- (1) 稼働率 44.5%（運行継続基準の30%以上を達成）…4点
- (2) 乗合率 1.55人（運行継続基準の1.5人以上を達成）…4点
- (3) 収支率 36.5%（運行継続基準の37%以上は未達成）…3点

※ 月毎の詳細は次ページのとおり

## 3 評価（伊豆の国市予約型乗合タクシー運用基準による）

- (1) 本格運行の継続条件
  - ① 全運行本数の運行稼働率（適切性・有効性）⇒全運行稼働率30%以上
  - ② 路線系統別の全平均乗合率（必要性・適切性）⇒全平均乗車率1.5人以上
  - ③ 事業の収支率・運行経費負担率（健全性・持続可能性）⇒全収支率37%
- (2) 総合評価 「基本的に現運行維持（内容により、一部見直しを検討）」  
（内訳） A～Eの5段階評価によると2の①4点…B、②+③=7点…B  
⇒「BB」という組合せ結果

## 4 コミュタク委員会の活動実績

- ・ 定例会の実施（概ね2カ月に1回）
- ・ 懇談会の実施（日中に開催し、地区住民の参画を促すもの）
- ・ 停留所の増設に伴う効果検証（ウエルシア伊豆長岡駅前店前及び16番停留所）
- ・ 啓発カードの作成及び周知（利用促進補助金を活用）
- ・ 実証している立花乗合タクシー推進委員会との連携

令和元年度 星の花号コミュタク委員会

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行日(日)	26	27	25	27	27	25	27	26	26	27	25	26	314
全運行回数(回)	156	162	150	162	162	150	162	156	156	162	150	156	1,884
運行回数(回)	85	82	71	74	71	68	70	70	74	54	68	52	839
運行稼働率(%)	54.5%	50.6%	47.3%	45.7%	43.8%	45.3%	43.2%	44.9%	47.4%	33.3%	45.3%	33.3%	44.5%
利用数(人)	153	139	107	108	105	106	101	101	124	91	112	71	1,318
行き	104	96	67	69	77	73	74	70	81	65	74	40	890
帰り	49	43	40	39	28	33	27	31	43	26	38	31	428
運行便数(便)	90	85	71	75	73	70	70	70	74	54	68	52	852
行き	56	55	43	45	50	46	48	46	44	36	42	29	540
帰り	34	30	28	30	23	24	22	24	30	18	26	23	312
乗合率 (利用数/運行便数)	1.70	1.64	1.51	1.44	1.44	1.51	1.44	1.44	1.68	1.69	1.65	1.37	1.55
運行経費(円)	126,360	119,340	99,684	105,300	103,496	98,280	100,100	100,100	105,820	77,220	97,240	74,360	1,207,300
市支払額(円)	76,860	72,840	62,884	67,900	67,496	62,480	65,200	66,200	65,820	48,620	60,440	49,660	766,400
利用者(円)	49,500	46,500	36,800	37,400	36,000	35,800	34,900	33,900	40,000	28,600	36,800	24,700	440,900
市負担(%)	61%	61%	63%	64%	65%	64%	65%	66%	62%	63%	62%	67%	63.5%
利用者負担(%)	39%	39%	37%	36%	35%	36%	35%	34%	38%	37%	38%	33%	36.52%
乗合状況(回数)	156	162	150	162	162	150	162	156	156	162	150	156	1,884
利用無し	71	80	79	88	89	82	93	86	84	109	84	104	1049
1人乗車	46	49	49	53	55	45	47	47	42	30	37	38	538
2人乗車	23	19	14	12	8	12	15	17	16	14	18	11	179
3人乗	9	8	3	6	7	9	5	4	9	4	8	1	73
4人乗以上	7	6	5	3	3	2	2	2	5	5	3	2	45



# バス・鉄道利用券の実績について

## 1 令和元年度の実績

対象者	人数 A	未交付 B	交付済 C	交付率 C/A	交付額 D = C × 5,000 円
75 歳以上	7,010 人	1,798 人	5,212 人	74.4%	26,060,000 円
障がい者	1,229 人	176 人	753 人	61.3%	3,765,000 円
合計	8,239 人	1,974 人	5,965 人	72.4%	29,825,000 円

バス E	鉄道 F	利用額合計 G = E + F	利用率 G/D	予算執行率
4,413,000 円	8,076,200 円	12,489,200 円	41.9%	78.1%
35.3%	64.7%	100.0%		

※ 1ヶ月当たりの平均利用額 1,040,767 円

## 2 前年(平成 30 年度)実績との比較

- (1) 交 付 額            29,850,000 円 (−25,000 円)
- (2) 利 用 額            12,472,800 円 (+16,400 円)
- (3) 執 行 率            78.0% (+0.1%)
- (4) 利 用 率            41.8% (+0.1%)
- (5) 平均利用額        1,039,400 円／1ヶ月 (+1,367 円)
- (6) 利用割合        バス … 35.7% (−0.4%)  
                             鉄道 … 64.3% (+0.4%)

## 3 バス・鉄道利用券に関わる制度の見直し

「バス・鉄道利用券」は3年目を迎えた令和元年度で廃止とし、公共交通の利用促進という趣旨を「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」に加え、両利用券を一本化することで、市の実情と市民ニーズに応じた適切な運用を目的として見直しを図るもの。

詳細は、令和2年度の取組計画にて説明。

## バスの乗り方教室(実施結果一覧)について

	小学校名	学年(組数)	参加児童数	実施内容			
				日時	時間	場所	事業者
1	大仁小学校	1年生(2組) 2年生(3組)	53人 73人	5月31日(金)	10:30~11:15 11:25~12:10	体育館・ 学校駐車場	新東海バス
2	萑山小学校	2年生(4組)	114人	6月20日(木) ・21日(金)	9:30~11:30	本社敷地内	伊豆箱根バス
3	長岡南小学校	2年生(3組)	91人	10月7日(月)	9:10~11:10	本社敷地内	伊豆箱根バス
4	萑山南小学校	2年生(2組)	58人	12月12日(木)	9:30~11:30	本社敷地内	伊豆箱根バス
5	大仁北小学校	2年生(2組)	40人	12月19日(木)	9:00~11:00	事業者敷地内	新東海バス

- ✓ 市内6小学校のうち、5小学校で実施。**延べ429人**の児童がバスの乗車体験を通じて、乗降方法や死角の確認、運賃表示機等の見方などを学び、交通安全も含めて理解を深めた。
- ✓ 各小学校からも好評を得ており、令和2年度も引き続き実施予定。

### 【バスの乗り方教室の様子】



紙芝居式クイズに挑戦(たくさん手が挙がります！)



内輪差の実験(風船は割れちゃうのかな?)



エンジンルームを見てみよう(こうなっているんだ！)



バス専用の洗車機を体験(すご〜い！と歓声！)

# 地域公共交通利用促進補助金について

## 1 補助金の趣旨

地域住民の日常生活に必要な市内の地域公共交通の利用促進等に資する事業を実施するボランティア団体その他の自主活動団体に対して、予算の範囲内において活動補助金を交付するもの。

## 2 対象事業

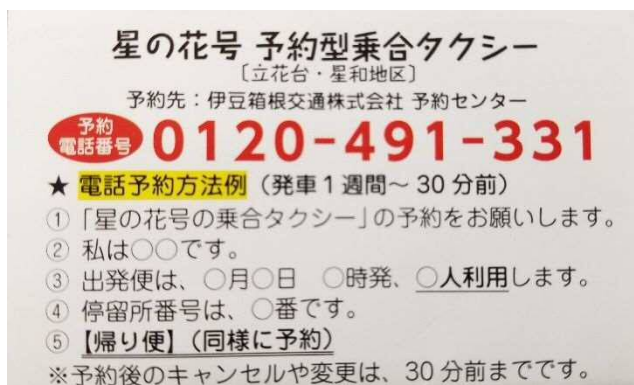
- (1) 対象団体が活動する地域内を運行する地域公共交通の利用促進及び利用啓発に関する事業
- (2) 活動地域内を運行する地域公共交通の利用環境の整備に関する事業
- (3) 活動地域内を運行する交通量調査、意識調査、アンケート調査等の実施に係る調査研究事業
- (4) 活動地域に対して、参考となる先進地視察等の実施に係る調査研究事業

## 3 補助金実績等

令和元年度の申請及び確定は2件78,000円。詳細は以下のとおり。

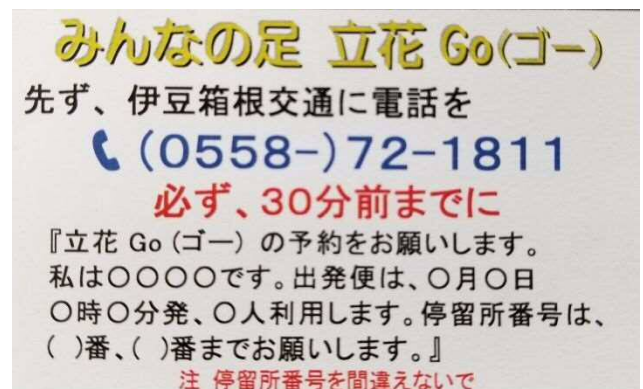
- (1) 星の花号コミュタク委員会
  - ① 補助申請額 36,000円
  - ② 確定(決定)額 36,000円
  - ③ 事業の内容 利用促進活動(携帯用名刺サイズの利用カード制作等)
- (2) 立花乗合タクシー推進委員会
  - ① 補助金確定 42,000円
  - ② 確定(決定)額 42,000円
  - ③ 事業の内容 利用促進活動(会議関連消耗品、連絡カード制作等)

作成したカード



星の花号 予約型乗合タクシー  
〔立花台・星和地区〕  
予約先：伊豆箱根交通株式会社 予約センター  
予約電話番号 **0120-491-331**  
★電話予約方法例(発車1週間～30分前)  
①「星の花号の乗合タクシー」の予約をお願いします。  
②私は〇〇です。  
③出発便は、〇月〇日 〇時発、〇人利用します。  
④停留所番号は、〇番です。  
⑤【帰り便】(同様に予約)  
※予約後のキャンセルや変更は、30分前までです。

【星の花号】



みんなの足 立花 Go(ゴー)  
先ず、伊豆箱根交通に電話を  
☎(0558-)72-1811  
必ず、30分前までに  
『立花 Go(ゴー)の予約をお願いします。  
私は〇〇〇〇です。出発便は、〇月〇日  
〇時〇分発、〇人利用します。停留所番号は、  
( )番、( )番までお願いします。』  
注 停留所番号を間違えないで

【立花 Go!】

# 令和2年度 of 取組計画について

## 1 市自主運行等バスの運行

- (1) 市自主運行バス（10 系統）
  - ① 千代田団地～葦山駅～奈古谷温泉口線（4 系統）
  - ② 修善寺～大仁・田京・浮橋～亀石峠線（6 系統）
- (2) 観光周遊バス（1 系統）

観光周遊型葦山反射炉循環バス／歴バス「のる～ら」
- (3) 予約型乗合タクシーの運行（2 系統）
  - ① 星和立花台・伊豆長岡駅線／星の花号
  - ② 立花・田京駅線／立花 Go！

## 2 バスの乗り方教室の実施

6 月末現在の実施予定は 3 件（大仁小学校、葦山小学校、葦山南小学校）。

## 3 地域公共交通利用促進補助金の運用

令和 2 年度予算 200 千円。2 団体（主に乗合タクシー推進委員会）の申請を想定。

## 4 福祉タクシー・バス・鉄道利用券の見直しについて

令和元年度中に見直しを行い、新たな方針で事業を実施（詳細は 22P-23P）。

## 5 ボランティア移送の推進・協働

地域公共交通との共存を前提として、地区内の交通弱者に対し、地域団体等が主体となって買物や通院等の支援を行う活動に対し、当市も協力及び協働をするもの。

- (1) 千代田地区／見守り隊（24P）
- (2) 葦山ぶなの森（25P）
- (3) いずのへそ（26P-27P）

## 6 その他

- ・ 東伊豆・中伊豆地域公共交通活性化協議会との協働
- ・ 周知及び啓発活動（公共交通まるごとマップの更新検討）
- ・ 交通事業者様への協力（啓発事業ほか）

# 「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」について

## 1 経緯及び目的

市内公共交通の利用拡大と維持を目的に交付を開始した「バス・鉄道利用券（政策推進課所管）」は、平成 29 年度から 3 年間で利用の定着化を図ることとしていた。

「バス・鉄道利用券」の利用実績は、平成 29 年度より平成 30 年度の方が増加しているが、「福祉タクシー・バス・鉄道利用券（長寿福祉課及び障がい福祉課所管）」の交付額の一部引き下げ等の影響もあり、効果を図ることが難しい現状である。

については、「バス・鉄道利用券」は 3 年目を迎えた今年度で廃止とし、公共交通の利用促進という趣旨を「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」に加え、両利用券を一本化することで、当市の実情と市民ニーズに応じた適切な運用を目的として見直しを図るものである。

## 2 現状

市議会や市民（主に高齢者）より、バス・鉄道利用券を利用する機会が少なく、「利用券の 1 本化」や「福祉タクシー利用券の拡大」を望む声が多い。

なお、交付額及び交付率等は以下のとおりとなる。

券種 対象		交付額	小計	H30 実績（参考）		
				交付率	利用率	うちタクシー の利用割合
高齢者 (75 歳以上)	タクシー等	5,000 円	10,000 円	68.0%	78.6%	86.9%
	バス・鉄道	5,000 円			41.8%	
障がい者 (身障 1.2 級等)	タクシー等	10,000 円	15,000 円	67.8%	63.7%	85.4%
	バス・鉄道	5,000 円			41.8%	

## 3 決定した方針

- (1) 「バス・鉄道利用券」は廃止し、「福祉タクシー・バス・鉄道利用券」に 1 本化する。
- (2) 券種は、タクシーを「初乗り券」、バス・鉄道を「100 円券」とし、用途を明確にする。
- (3) タクシー利用の金額は、高齢者分を @610 円×9 枚（5,500 円相当）とし、障害者分を @610 円×17 枚（10,400 円相当）とする。
- (4) バス・鉄道利用の金額は、100 円券×30 枚（3,000 円）に統一する。

対象	券種	福祉タクシー・バス・鉄道利用券		小計 (相当額)	H30 比較
		タクシー	バス・鉄道		
高齢者 (75 歳以上)		5,500 円 (@610 円×9 枚)	3,000 円 (@100×30 枚)	8,500 円	△ 1,500 円
障がい者 (身障 1.2 級等)		10,400 円 (@ 610 円×17 枚)			

※ タクシーの初乗り額は、伊豆長岡・韮山地区は 600 円、大仁地区は 610 円となる

#### 4 見直しの狙い

- (1) 「利用券の1本化」及び「タクシー利用(額)の拡大(増額)」という市民ニーズへ対応するもの。
- (2) “社会参加の促進や通院等の支援”を想定した制度であるため、現在のように1度で使い切りとなるより、複数回の利用を確保することで、より適した利用方法に改めるもの。
- (3) 「バス・鉄道利用券」は廃止するが、“公共交通の維持”という趣旨を残しつつ、実際の利用率に合った交付額の設定するもの。

#### 5 見直しのメリット・デメリット

	【メリット】	【デメリット】
タクシー利用を初乗り券(610円)に変更	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外出支援という趣旨において、初乗り券の方がより適している</li> <li>・ 利用回数が増えるという観点で、平等性が保たれる(山間地や市街地など居住地に左右されない)</li> <li>・ 高齢者は、実質500円の増額 障がい者は、実質400円の増額</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 変更に伴う混乱が生じる可能性 市民 … 支払方法 事業者 … 精算、請求方法</li> <li>・ タクシー代が多額の場合、自己負担が増えた感覚に陥る可能性</li> </ul>
バス・鉄道利用は100円券を継続(3,000円統一)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用方法に変更がないため、混乱は生じない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前年度比で2,000円の減額のため、交付金額が下がったことによる不満の可能性</li> </ul>
考慮した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者からの意見聴取や協議 併せて、事業者との委託契約や仕様書の内容変更</li> <li>・ 関連要綱の一部改正や廃止手続き</li> <li>・ 市民に対し、広報紙による周知(可能な限り分かりやすい説明)</li> </ul>	

# 千代田区ボランティア移送について

- 1 現 状 千代田区は306世帯757人が住み、高齢化率は44.6%と高い水準にある。近年は、全国的に高齢者の引き起こす交通事故が多発していることから、自主的に免許返納する高齢者も増えているが、返納後の交通手段や外出機会の確保が課題となっている。
- 2 目 的 千代田区に住む高齢者の尊厳を守り、自立した生活が送れるように特に買物をするための移動手段を確保することを目的とする。
- 3 運行方法 千代田区見守り隊（千代田区の中に位置される任意団体）が実施しようとする移動支援について、千代田区からの依頼に基づき、社会福祉法人あやめ会いちごの里（以下、いちごの里）が協力し、実施するもの
- 4 概 要
  - (1) 開始時期 令和2年7月1日（水）
  - (2) 運行日等 毎週水曜日 13:00～15:00
  - (3) 運行車両 いちごの里のデイサービス送迎車（10人乗り）
  - (4) 運転手等 運転手 … いちごの里職員  
安全確保のための補助員 … 千代田区見守り隊員
  - (5) 対 象 者 千代田区民で65歳以上。自身で車両に乗降できる者。免許返納者や免許を持たない者など
  - (6) 利用方法 利用希望者は、事前登録を行い、当日の昼までに利用の希望を見守り隊まで伝える。当日は、13:10頃までに区内の民地3か所のいずれかで待つ。
  - (7) 利用料 無料
  - (8) 運行ルート 13:00（いちごの里発）～13:15（千代田発）～区内の3か所から乗車  
13:30（長岡マックスバリュ着） == 買物（1時間） ==  
14:30（長岡マックスバリュ発）～14:45（千代田区着）利用者宅前で下車  
～15:00（いちごの里着）
  - (9) そ の 他
    - ・ 利用者情報は、千代田区見守り隊が保管及び厳重に管理する
    - ・ 車両に係る費用及び保険対応は、いちごの里が負担する。
    - ・ 運転手は、当日の利用者の人数等を記録する。
    - ・ 当面は1回／週とし、利用者の意見や利用実態を把握する。
- 5 既存公共交通関連 千代田区には、市自主運行バスが運行しており、当該バス路線の利用者が年々減少している現状である。本移送ボランティアは、市自主運行バスとの共存を目指し、バスの利用促進に向けた協力をするものとする。

# 韮山・ぶなの森ボランティア移送について

## 1 事業目的

山間地にお住まいの方で、免許証を返還し車を持たない高齢者のうち、自身で長距離移動が出来ない方や、引きこもりがちの方等を対象として、住み慣れた地域で安心して、その人らしく生活を続けて行ける為の支援として、ボランティア移送を行う。

## 2 事業実施方針

ボランティア移送サービスを通し、地域課題の発見や地域のネットワークの構築に貢献する。

## 3 事業概要

### (1) 事業の名称

韮山・ぶなの森ボランティア移送サービス

### (2) 事業主体

社会福祉法人函要会 韮山・ぶなの森(静岡県伊豆の国市韮山山木 391-1 TEL055-940-0036)

### (3) 事業開始日

令和2年8月～

### (4) 運行日・利用時間及び運休日

運行日 月曜日～木曜日(下りのみ) 9:45～11:30の間

運休日 金曜日・土曜・日曜日・祝日・年末年始

\*災害時や冬季積雪および凍結時等により運行困難な場合は臨時運休となります

### (5) 実施及び受付方法及び移送地

地域の移送支援をバックアップする立場から施設職員がデイサービスやショートステイの車輛を活用して、自宅付近から目的地まで利用者を移送する。

利用方法 会員登録制(予約制) \*事前に登録申込書記入(写真付きカード作成)

**\*原則、平日9:00～16:00までに予約** (担当:勝亦・内山)

移送場所 韮山・ぶなの森・グリーンプラザ・韮山保健センター・韮山支所・韮山駅

### (6) 利用車両・利用定員

【車両】ワンボックス1台(6人乗り) 【利用定員】1名～5名

### (7) 事業の対象者 \*移動・移乗に介助不要な方

・山間地にお住まいの方や高齢者(要支援者) ・運転免許証返還した高齢者

・地域巡回バス利用不可能な高齢者や要支援者・生活保護受給者・身体障害者手帳受給者

※(指定乗降場所までの距離歩行が困難な方や高齢者、要支援者への支援)

### (8) 事業の実施地域

伊豆の国市韮山地区の山間地域(エメラルドタウン・小松ヶ原)

### (9) 職員の職種、員数及び職務内容

ショートステイ・デイサービス・放課後等デイサービス・配食サービスの運転手

兼務職員 4名(シフト対応)

### (10) 経費

運行及び車両に係る経費については、社会福祉法人函要会韮山・ぶなの森が負担する。

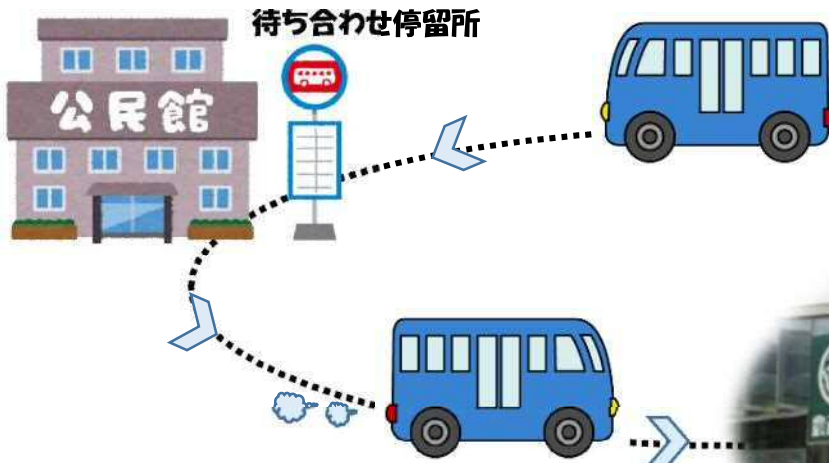


わがまちの

あなたの

# 道の駅 が 健康ライフを応援！！

道の駅伊豆のへそのマイクロバスが、あなたの地区の「待ち合わせ停留所」にお迎えにあがります！ 帰りも乗車した「待ち合わせ停留所」まで送ります。お買い物や自粛生活で閉じこもりがちだった生活への潤いや、ほんの少し“体を動かすきっかけ”にご活用ください！



新型コロナウイルス感染症対策として乗車定員を半数(10~14名)に減らし、換気と定期的なアルコール消毒の実施をしています。



**道の駅伊豆のへそには**

**地元の農家さんが作った新鮮な野菜やたまご、**

**手づくり弁当・惣菜・パン、お肉や魚(干物)などが**

**いっぱい！**

**雨が降っても歩けるお散歩コースや**

**屋外で憩えるテーブルベンチもあります**





そんなあなたに！…

# 道の駅伊豆のへそへお越しください！

## 利用方法



## 過ごし方はあなた次第！



【みんなが気持ちよく活用できるためのお願い】

- ◇ バス乗車時に、ドライバーがお名前・ご連絡先をお伺いします。
- ◇ バス乗車時にはマスクの着用をお願いします。
- ◇ 発熱している（平熱より1度以上高い、もしくは37.5℃以上ある）・体調がすぐれない時はご利用を控えてご自宅でゆっくり過ごしましょう。

【問い合わせ先】

- ☆ 市 保健福祉・子ども・子育て相談センター（担当：野口） ☎0558-76-8010
- ☆ 道の駅 伊豆のへそ （時の栖支配人：佐藤） ☎0558-76-3355

